

ひいかわ かんどがわ  
**斐伊川・神戸川**  
**流域環境マップ**  
**2025**報告書

世界を  
描きなおす  
あなたの  
発見!



河川基金

**2026年2月**

主催：NPO法人しまね体験活動支援センター  
主幹：斐伊川・神戸川流域 小・中学校 他

\*この事業は、公益財団法人 河川財団「河川基金助成」、一般社団法人 中国建設弘済会「中国地方地域づくり等 助成事業」の助成を受けています。

宇宙から見た斐伊川・神戸川流域  
撮影衛星：国土地理院地図から引用

## もくじ

はじめに	2
斐伊川・神戸川流域環境マップづくりの概要	4
2025年度の活動	14
春の指導者研修会	15
第19回「斐伊川・神戸川流域環境マップづくり」成果発表会報告	16
新聞掲載	20
調査について	21
調査参加校等一覧	23
調査参加校等マップ	24
指導教員対象アンケートの結果	25
宍道湖環境調査参加者アンケート	27
学校からの河川調査報告	29
春・夏の調査地点	37
春・夏の調査ポイント一覧【基本・コメント編】	38
春・夏の調査ポイント一覧【生物・ゴミ・水質編】	39
秋の調査地点	40
秋の調査ポイント一覧【基本・コメント編】	41
秋の調査ポイント一覧【生物・ゴミ・水質編】	42
総合分析マップ 水のきれい度(春・夏、秋)	43
1番多い指標生物(春・夏、秋)	45
PH(春・夏、秋)	47
COD(春・夏、秋)	49
水質判定参考書(川の生きものを調べよう)	51
きれいな水にすむ生き物	54
ややきれいな水にすむ生き物	60
きたない水にすむ生き物	65
とてもきたない水にすむ生き物	69
きれいな水・ややきれいな水の両方にすむ生き物	74

## はじめに

NPO 法人 しまね体験活動支援センター  
理事長 青木 充之



NPO 法人 しまね体験活動支援センターでは、平成 14 年（2002 年）から、旧出雲市、赤来町、頓原町、佐田町、大社町の 1 市 4 町の教育委員会が主体となって神戸川流域の小・中学生を対象として環境調査をはじめました。平成 18 年（2006 年）、神戸川が斐伊川水系の一級河川に編入されたことをきっかけに、平成 19 年（2007 年）からは斐伊川・神戸川流域全体の小・中・高等学校に対象を拡げて、NPO 法人しまね体験活動支援センター

と島根県の協働で実施することになった歴史のある活動です。（現在は NPO 法人のみの主催）

実際に川に入って、川の感触やそこに棲む生物、水質、周囲の自然の様子を観察するなどの体験を重視しながら、水質を判定してもらってきました。得られたデータは当法人に報告してもらい、本報告書にまとめて発刊することで県民に川に対する関心を高めてもらうことに一役買っています。同時に蓄積された調査結果は、当法人のホームページに記録され、河川環境の変化を見るための基礎的なデータとして利用されています。

今年度も 7 校の小学校・高等学校延べ 244 人に参加してもらい、その中から代表 2 小学校の成果発表会が 12 月 6 日、出雲科学館で開催されました。各校が調査結果から、ふるさとの河川環境の良さを認識したり、水質を維持するため川を汚さない重要性などを訴えました。

川に直接入って調査したふるさとでの原体験は得難いものなので、今後もこの事業を継続し流域の自然と環境の保全を図り、「川の守り人」育成に役立てていきたいと思っています。来年は NPO 法人設立 20 周年を記念して 8 月に「出雲市・出雲市教育委員会との協働事業として自然体験活動推進事業「夏の川遊び体験会」を計画していますので、ぜひご参加ください。

## 自然の大切さを次世代に

国土交通省 出雲河川事務所長 児子 真也



2002 年度（平成 14 年度）に地域の小中学校との連携から始まった環境マップ作成の活動は、2007 年度（平成 19 年度）には、対象地域を神戸川流域から斐伊川・神戸川流域へと活動の幅を拡げ、「斐伊川・神戸川流域環境マップづくり」となり、対象範囲の拡大をしてから今年度で第 19 回目を迎えました。

今年度は、出雲市立須佐小学校と出雲市立多伎小学校の児童の皆さんに発表いただきました。活動成果発表会では子供たち自らが身近に流れている河川に入り、調査活動を通じて、自分たちが生活している地域の環境がどのようなものなのかを発表し、加えて、参加者との意見交換で理解が深まったと思います。

今年、斐伊川水系で記録的な渇水が発生し、私たちは改めて水の恵みの尊さを実感しました。川は私たちに水や豊かな土壌を与える一方で、時に洪水や渇水といった厳しさをもたらします。普段当たり前のように使っている水が、自然の循環によって支えられていること、そのバランスが崩れると生活や産業に大きな影響を及ぼすことを、地域全体で考える一年となりました。

20年以上続くこの活動は、単なる学習にとどまらず、自然と人とのつながりを体験する貴重な機会です。子どもたちが今回の体験を通じて、ふるさとの自然を守り、未来にわたって大切さを伝えてくれることを願っています。また出雲河川事務所も、地域の皆様とともに、斐伊川・神戸川を安全で安心、そして豊かな川として守り続けてまいります。

最後に、この活動を長年支えてくださっているNPO法人しまね体験活動支援センターをはじめ、関係者の皆様に深く感謝申し上げますとともに、今後もより多くの方々にこの活動の価値が広がっていくことを期待しています。

## 「環境を守ることは自分や大切な人の未来を守ること」

出雲市教育委員会 教育政策課 梶谷 悟

令和7年度、「第19回斐伊川・神戸川流域環境マップづくり成果発表会」が、NPO法人しまね体験活動支援センターの皆様方のご尽力により開催されました。長年にわたり、貴センター事業を企画・運営し、児童・生徒の河川での体験活動の場と学習成果を発表する機会を設けてくださっていることに改めて感謝申し上げます。

今年度は、須佐小学校と多伎小学校の2校の発表がありました。須佐小学校はアユの放流、多伎小学校は海岸清掃をきっかけに身近な川の水質や水生生物について調べ、調査を通じて分かったこと、気づいたことをまとめ、発表するとともに、自分たちに何ができるかを考えて、これから実際に行動しようという姿勢、態度も示してくれました。「きれいな川を守っていく」「環境をもっとよくしていきたい」という思いが、その言葉や表情からしっかり伝わってきました。

環境教育は、単に知識を伝えるだけでなく、未来を担う世代である子どもたちの「自ら考え、行動する力」を育むものです。現状を知ることからスタートし、そして、知ったことを自分の生活、自分たちの生活にどう活かすのかを考え、行動することが大切です。例えば、落ちていたゴミを拾う、節電・節水を心がける、地域の清掃に参加するなど、一人一人の小さな積み重ねが大きな変化を生み出していきます。

これからも「斐伊川・神戸川流域環境マップづくり」という環境学習を通じて、「環境を守ることは自分や大切な人の未来を守ること」だと感じることでできる人が増え、これからも自分たちの住むふるさとを大切にしていこうとする機運が醸成されていくことを期待しています。

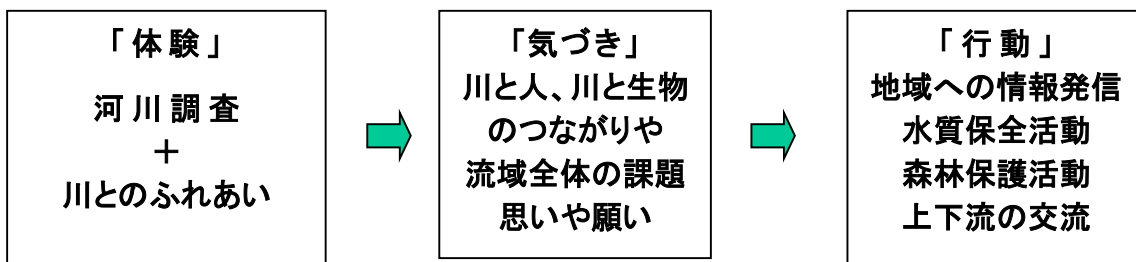
## 斐伊川・神戸川流域環境マップづくりの概要

### ◆ねらい

ふるさと学習を通じての「ふるさとを愛する人づくり」の一環として、また、流域全体の河川環境学習の一環として、2002年から神戸川を活用した「川の環境マップづくり」に取り組んできました。平成19(2007)年からは、斐伊川流域まで範囲を拡大して河川環境マップづくりを行いました。

川での調査体験活動の取り組みと、そこから感じられた様々な気づきや地域環境への願いなどを子ども達が流域全体に情報発信していきます。

### ふるさとを愛する人づくり・河川環境学習の推進



### ◆実施機関

主催：NPO 法人 しまね体験活動支援センター

主幹：斐伊川・神戸川流域圏小中学校（2市2町の小中学校等が対象（2025年度））等

ひいかわ

### ◆斐伊川の概要

源流：島根県・鳥取県の<sup>せんつうざん</sup>県境船通山（標高 1,142.5m） 延長：約 153km

流域は、上流から宍道湖に流入する斐伊川本線流域と、汽水湖である宍道湖の流域、中海の流域の3つに大別されます。斐伊川は典型的な砂河川で、全国でもまれな「天井川」として知られています。上流部では昔「たたら製鉄」が行われていました。宍道湖・中海については比較的浅く、また日本海との平均水位差が数cm～数10cmと小さいため、淡水と海水が入り混じった「汽水湖」で、西日本最大級の冬鳥の飛来地としても有名です。

かんどがわ

### ◆神戸川の概要

源流：飯石郡飯南町南端<sup>めんがめやま</sup>女亀山（標高 830m） 延長：約 82km

神戸川は流域の約80%が山地で、川は『出雲国風土記』にも登場し古来から親しまれています。斐伊川神戸川治水（合流）事業により飯南町には志津見ダムが完成、下流部出雲市では2013年に斐伊川放水路工事が完成し洪水時に分水が開始されました。2006年8月1日からは神戸川は1級河川に指定され、斐伊川流域に編入されました。

## ◆参加校等

- 飯南町** 【小学校】 赤名、志々  
**出雲市** 【小学校】 神戸川、遥堪、須佐、多伎  
【高等学校】 出雲西  
**雲南市**  
**奥出雲町**

## ◆内容

- ①調査は春・夏・秋に分けて実施します。
- ②各学校付近で実際に川に入って、指標生物やゴミ、水質（pH、COD）などを調査します。
- ③指標生物を分析し、種類・数から水質判定します。（国土交通省・環境省の指標を採用）
- ④調査地点ごとに調査結果（指標生物数、感想、写真など）を、各学校からインターネットを使ってNPO法人しまね体験活動支援センターへ報告します。
- ⑤NPO法人しまね体験活動支援センターが報告をまとめ、法人のホームページに結果を掲載します。
- ⑥流域全体の河川環境マップが完成します。  
⇒ホームページで公開しています。

<http://ss527081.stars.ne.jp>



↑川に入って生物探し



↑水生昆虫識別中



↑調査結果や成果発表会の様子をホームページに掲載

※その他、源流や河口への見学、流域全体の水質調査、川のゴミ拾いやゴミの分類調査、水質浄化の取り組みを冊子にまとめ配布する活動、ホタル調査やホタル学習、地域で河川調査の成果を発表する活動などを実施している学校もあります。

## ◆協力機関

国土交通省中国地方整備局 出雲河川事務所  
公益財団法人河川財団、一般社団法人中国建設弘済会、島根県、出雲市教育委員会、雲南市教育委員会、飯南町教育委員会、奥出雲町教育委員会、公益財団法人島根県環境保健公社、島根県立宍道湖自然館ゴビウス他

◆これまでの活動

2002年の中から通算24年、延べ17,280人もの子どもたちが参加しました。

調査時期	参加校等	参加者	調査地点	調査期間	統一調査日	
H14	秋	29	1108	54	9/11～10/11	9/12
H15	春	18	985	34	5/26～6/20	6/5
	秋	28	1135	58	9/2～9/30	9/18
H16	春	24	810	48	6/1～6/30	6/9
	秋	13	396	29	9/1～9/30	9/9
H17	春	14	633	31	6/1～7/15	7/7
	秋	17	501	47	9/1～9/30	9/9
H18	春	12	261	16	6/6～7/7	6/12～6/16
	秋	11	379	17	9/4～10/4	9/11～9/15
H19	春	28	226	18	6/4～7/13	なし
	秋	14	400	13	9/3～10/5	なし
H20	春	17	386	29	5/27～7/18	なし
	秋	16	490	23	9/1～10/10	なし
H21	春	23	478	29	5/28～7/18	なし
	夏	5	75		7/19～8/31	なし
	秋	24	711	24	9/1～10/25	なし
H22	春	11	206	16	5月～7月	なし
	夏	9	189		7月～8月	なし
	秋	20	610	23	9月～11月	なし
H23	春	14	301		5月～7月	なし
	夏	8	127		7月～8月	なし
	秋	17	378		9月～11月	なし
H24	春	14	241		5月～7月	なし
	夏	10	207		7月～8月	なし
	秋	13	305		9月～11月	なし
H25	春	9	178		5月～7月	なし
	夏	10	259		7月～8月	なし
	秋	12	278		9月～11月	なし
H26	春	9	262		5月～7月	なし
	夏	7	97		7月～8月	なし
	秋	10	176		9月～11月	なし
H27	春	11	225		5月～7月	なし
	夏	4	43		7月～8月	なし
	秋	11	231		9月～11月	なし
H28	春	7	168		5月～7月	なし
	夏	6	122		7月～8月	なし
	秋	8	206		9月～11月	なし

H29	春	9	193		5月～7月	なし
	夏	6	67		7月～8月	なし
	秋	9	228		9月～11月	なし
H30	春	8	144		5月～7月	なし
	夏	6	185		7月～8月	なし
	秋	6	104		9月～11月	なし
R1	春	8	164		5月～7月	なし
	夏	2	28		7月～8月	なし
	秋	9	282		9月～11月	なし
R2	春	3	40		5月～7月	なし
	夏	5	57		7月～8月	なし
	秋	8	217		9月～11月	なし
R3	春	8	141		5月～7月	なし
	夏	4	45		7月～8月	なし
	秋	7	193		9月～11月	なし
R4	春	7	107		5月～7月	なし
	夏	2	24		7月～8月	なし
	秋	5	197		9月～11月	なし
R5	春	5	189		5月～7月	なし
	夏	3	37		7月～8月	なし
	秋	6	308		9月～11月	なし
R6	春	4	149		5月～7月	なし
	夏	2	17		7月～8月	なし
	秋	6	137		9月～11月	なし
R7	春					
	夏					
	秋					

#### ◆第1回調査からの主なできごと

H14 (2002) 年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・赤来町・頓原町・佐田町・出雲市・大社町の小中学校 29 校でスタート</li> <li>・9 月、Web-GIS の第 1 号プロジェクトとして第 1 回調査・マップへの入力を開始</li> </ul>
H15 (2003) 年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・神戸川流域環境学習推進協議会を設立</li> <li>・(財)河川環境管理財団の河川整備基金の助成を受ける</li> <li>・新たに多伎町・掛合町が加わり、計 33 校が参加</li> <li>・調査を春と秋の 2 回実施することを決定</li> <li>・横断幕、のぼりを作成し配布</li> <li>・2 月 21 日成果発表会(島根県中山間地域研究センター)</li> </ul>



H16 (2004) 年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・(財)河川環境管理財団の河川整備基金の助成を受ける</li> <li>・8月7日「水環境フェア 2004in 新潟」で中国地区の代表として発表</li> <li>・10月28日「河川整備基金助成事業成果発表会」(東京)で発表</li> <li>・源流/河ロツアーやゴミ拾いなど流域での活動が活発になる</li> <li>・2月19日成果発表会(島根県中山間地域研究センター)</li> </ul>
H17 (2005) 年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・旧飯南町立谷小学校、小田小学校が閉校</li> <li>・(財)河川環境管理財団の河川整備基金の助成を受ける</li> <li>・<u>(社)日本河川協会平成17年度通常総会において、河川功労者表彰を受ける</u></li> <li>・市町村合併により、出雲市・雲南市・飯南町の3市町となる</li> <li>・11月12日源流ツアー&amp;成果発表会を開催(飯南町 ふれあいホールみせん)</li> <li>・学校交流、源流・河口への見学、学校から離れたところの調査などが活発になる</li> </ul>
H18 (2006) 年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・(財)河川環境管理財団の河川整備基金の助成を受ける</li> <li>・雲南市吉田小学校が加わり、対象校は32校に</li> <li>・7月16日～19日にかけての大雨で神戸川が氾濫し、浸水被害などが発生</li> <li>・8月1日 斐伊川流域への編入、神戸川は1級河川に</li> <li>・8月7, 8日「水環境フェア 2006in 松江」開催</li> <li>・8月14日～17日「東アジア環境教育ミーティング」で神戸川を視察</li> <li>・2月(財)日本河川環境管理財団発行の『水辺から学ぼう』第5号市民団体活動事例集に神戸川流域環境学習推進協議会の学校教育支援活動が4ページに渡って紹介され、全国に配布される</li> </ul>
H19 (2007) 年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・神戸川流域環境学習推進協議会などが母体となって2007年2月に設立された「NPO 法人 しまね体験活動支援センター」が事業の主催者となる</li> <li>・(財)河川環境管理財団の河川整備基金の助成を受ける</li> <li>・神戸川の災害復旧工事が進行し川のにごりが続く</li> <li>・5月 河川調査指導者研修会を斐伊川で開催</li> <li>・5月 第1回斐伊川・神戸川流域環境マップづくりを開始 スタート時33校参加</li> <li>・「平成18年度の神戸川流域マップづくり」が河川環境管理財団の『平成19年度河川整備基金助成事業優秀成果』に選定(採択件数351件の内45件)</li> <li>・11月23日(祝)「第1回斐伊川・神戸川流域環境マップづくり成果発表会」を開催し6校が発表(出雲科学館)</li> <li>・国土交通省出雲河川事務所の「川の語りべ」候補者調査に協力</li> </ul>
H20 (2008) 年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・(財)河川環境管理財団の河川整備基金の助成を受ける</li> <li>・5月 河川調査指導者研修会を斐伊川(雲南市木次町)で開催</li> <li>・5月 第2回斐伊川・神戸川流域環境マップづくりを開始 スタート時28校と1公民館参加(公民館の参加は初)</li> <li>・11月「神戸川史」作成のため「未来に神戸川の歴史を伝える会」発足</li> <li>・11月22日(土) 出雲科学館において「第2回斐伊川・神戸川流域環境マップづくり成果発表会」を開催し小学校3校、中学校1校、公民館1館が発表</li> </ul>

H21 (2009) 年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・(財)河川環境管理財団の河川整備基金、(財)しまね自然と環境財団のふれあい環境助成金の助成を受ける</li> <li>・5月 河川調査指導者研修会を斐伊川(雲南市木次町)で開催</li> <li>・5月 第3回斐伊川・神戸川流域環境マップづくりを開始(環境学習施設初参加)</li> <li>・11月23日(月・祝) 出雲科学館において「第3回斐伊川・神戸川流域環境マップづくり成果発表会」を開催し小学校3校、中学校2校、環境学習施設1館が発表</li> <li>・2月22日 神戸川史作成協議会が未来に神戸川の歴史を伝える「神戸川史」を発刊し、その中で2ページを使って斐伊川・神戸川流域環境マップづくりを紹介</li> </ul>
H22 (2010) 年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・(財)しまね自然と環境財団「ふれあい環境助成金」、社団法人中国建設弘済会「中国地方地域づくり等助成制度」、全労済「2010年全労済地域貢献助成事業」の助成を受ける</li> <li>・5月 河川調査指導者研修会を斐伊川(雲南市木次町)で開催</li> <li>・5月 第4回斐伊川・神戸川流域環境マップづくりを開始</li> <li>・11月23日(火・祝) 出雲科学館において「第4回斐伊川・神戸川流域環境マップづくり成果発表会」を開催し、出雲市立岐久小学校、出雲市立鱒淵小学校、飯南町立来島小学校の3校が発表</li> <li>・11月末 島根日日新聞に成果発表会の様子が報道され、出雲ケーブルテレビでも放映される</li> </ul>
H23 (2011) 年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・(財)河川環境管理財団の河川整備基金、社団法人中国建設弘済会「中国地方地域づくり等助成制度」の助成を受ける</li> <li>・5月 河川調査指導者研修会を斐伊川(雲南市木次町)で開催</li> <li>・5月 第5回斐伊川・神戸川流域環境マップづくりを開始</li> <li>・6月 中国地方地域づくり等助成事業報告会(広島市)で取り組みを発表</li> <li>・11月23日(水・祝) 出雲科学館において流域全体で取り組む河川環境保全活動「第5回斐伊川・神戸川流域環境マップづくり成果発表会」を開催し、出雲市立上津小学校、飯南町立赤名小学校、奥出雲町立高尾小学校、古志青少年育成協議会の3校と1団体が発表</li> <li>・11月末 島根日日新聞に成果発表会の様子が報道され、出雲ケーブルテレビでも発表の様子が放映される</li> </ul>
H24 (2012) 年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・(財)河川環境管理財団の河川整備基金、一般財団法人セブナーイレブン記念財団「2012年度公募助成」の助成を受ける</li> <li>・5月 河川調査指導者研修会を神戸川(出雲市乙立町立久恵峡)で開催</li> <li>・5月 第6回斐伊川・神戸川流域環境マップづくりを開始</li> <li>・5月 (公社)日本河川協会より河川功労者表彰を受賞</li> <li>・9月 島根県主催「神戸川の河川環境に関する専門委員会」で河川環境マップづくりの取り組みと水質の変化及び水質改善に関する意見を発表</li> <li>・11月23日(金・祝) 出雲科学館において「第6回斐伊川・神戸川流域環境マップづくり成果発表会」を開催し、出雲市立須佐小学校、雲南市立吉田小学校、飯南町立志々小学校、奥出雲町立阿井小学校の4校が発表</li> <li>・11月末 島根日日新聞に成果発表会の様子が報道される</li> <li>・12月 「神戸川の河川環境に関する専門委員会」で意見発表</li> </ul>
H25 (2013) 年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>(公)河川財団の河川助成事業、(公)しまね自然と環境財団の助成を受ける</li> <li>・5月 河川調査指導者研修会を神戸川(出雲市乙立町立久恵峡)で開催</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・5月 第7回斐伊川・神戸川流域環境マップづくりを開始</li> <li>・11月 (公財)河川財団より『平成 25 年度河川整備基金助成事業優秀成果』に選定(応募 364 件、採択件数 283 件の中から選定)</li> <li>・11月 23 日(土・祝) 出雲科学館において「第7回斐伊川・神戸川流域環境マップづくり成果発表会」を開催し、出雲市立朝山小学校、出雲市立鱒淵小学校、飯南町立頓原小学校、奥出雲町立八川小学校の4校が発表</li> <li>・11月末 島根日日新聞、山陰中央新報に成果発表会の様子が報道される 参加学校数 18、公民館 1、延べ参加者数 715 人</li> </ul>
H26 (2014) 年度	<p>(公)河川財団の河川助成事業、(公)しまね自然と環境財団の助成を受ける</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・5月 河川調査指導者研修会を神戸川(出雲市乙立町立久恵峡)で開催</li> <li>・5月 第8回斐伊川・神戸川流域環境マップづくりを開始</li> <li>・11月 23 日(日・祝) 出雲科学館において「第8回斐伊川・神戸川流域環境マップづくり成果発表会」を開催し、飯南町立来島小学校、奥出雲町立三沢小学校、出雲西高等学校、奥出雲町立布勢公民館の3校と1公民館が発表</li> <li>・11月末 島根日日新聞に成果発表会の様子が報道された 参加学校数 16(高等学校 1 含む)、公民館 1、延べ参加者数 535 人</li> <li>・3月 国土交通省(出雲河川事務所)の河川協力団体として登録</li> </ul>
H27 (2015) 年度	<p>(公)河川財団の河川助成事業、全労済の助成を受ける</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・4月 河川協力団体として活動を開始する</li> <li>・6月 河川調査指導者研修会を神戸川(出雲市乙立町立久恵峡)で開催</li> <li>・6月 第9回斐伊川・神戸川流域環境マップづくりを開始</li> <li>・11月 23 日(月・祝) 出雲科学館において「第9回斐伊川・神戸川流域環境マップづくり成果発表会」を開催し、飯南町立赤名小学校、出雲市立神戸川小学校、雲南市立西日登小学校の3校が発表</li> <li>・11月 24 日 島根日日新聞に成果発表会の様子が報道された 参加学校数 16(高等学校 1 含む)、公民館 1、延べ参加者数 499 人</li> </ul>
H28 (2016) 年度	<p>(公)河川財団の河川助成事業、(一社)中国建設弘済会「中国地方地域づくり等助成事業」の助成を受ける</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・5月 河川調査指導者研修会を神戸川(出雲市乙立町立久恵峡)で開催</li> <li>・6月 第10回斐伊川・神戸川流域環境マップづくりを開始</li> <li>・11月 23 日(水・祝) 出雲科学館において「第10回斐伊川・神戸川流域環境マップづくり成果発表会」を開催し、出雲市立岐久小学校が発表</li> <li>・同日同会場において斐伊川・神戸川流域環境マップづくり10周年を記念して、約130名が参加し「斐伊川・神戸川子どもシンポジウム」を開催した</li> <li>・11月 27 日 島根日日新聞に成果発表会の様子が報道された 参加学校数 14(高等学校 1 含む)、公民館 1、延べ参加者数 496 人</li> </ul>

<p>H29 (2017) 年度</p>	<p>(公)河川財団の河川助成事業、しまね社会貢献基金活動支援金の助成を受ける</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・5月 河川調査指導者研修会を神戸川(出雲市乙立町立久恵峡)で開催</li> <li>・6月 第11回斐伊川・神戸川流域環境マップづくりを開始</li> <li>・6月 <u>(一社)中国建設弘済会「中国地方地域づくり等助成事業報告会」(広島市)で発表。敢闘賞を受賞。</u></li> <li>・11月 <u>公益財団法人 河川財団より平成 28 年度助成事業「川づくり団体部門」優秀成果表彰団体に選出される</u></li> <li>・11月23日(木・祝) 出雲科学館において「第11回斐伊川・神戸川流域環境マップづくり成果発表会」を開催し、飯南町立頓原小学校、出雲市立須佐小学校、出雲市立大社中学校科学部、雲南市立大東中学校、出雲西高等学校インターアクトクラブが発表</li> <li>・11月25日 島根日日新聞に成果発表会の様子が報道された</li> <li>・1月「平成28年度川づくり団体全国事例発表会」(東京大学小柴ホール)で発表 参加学校数13(高等学校1含む)、公民館1、延べ参加者数488人</li> </ul>
<p>H30 (2018) 年度</p>	<p>(公)河川財団の河川助成事業、(一社)中国建設弘済会「中国地方地域づくり等助成事業」の助成を受ける</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・5月 河川調査指導者研修会を神戸川(出雲市乙立町立久恵峡)で開催</li> <li>・6月 第12回斐伊川・神戸川流域環境マップづくりを開始</li> <li>・11月24日(土) 出雲科学館において「第12回斐伊川・神戸川流域環境マップづくり成果発表会」を開催し、飯南町立来島小学校、出雲市立神戸川小学校、出雲市立鱒淵小学校、奥出雲町立阿井小学校が発表</li> <li>・11月26日 島根日日新聞に成果発表会の様子が報道された</li> <li>・12月16日 <u>国土交通大臣よりの優れた地域づくり活動に与えられる「手づくり郷土賞(一般部門)」を受賞し、東京国際交流館プラザ平成で行われた記念発表会に参加</u></li> <li>・1月「平成29年度川づくり団体全国事例発表会」(東京大学小柴ホール)のポスターセッションで河川環境マップづくり事例発表 参加学校数12(高等学校1含む)、公民館1、延べ参加者数433人</li> </ul>
<p>R1 (2019) 年度</p>	<p>(公)河川財団の河川助成事業、(一社)中国建設弘済会「中国地方地域づくり等助成事業」の助成を受ける</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・5月 河川調査指導者研修会を神戸川(出雲市乙立町立久恵峡)で開催</li> <li>・6月 第13回斐伊川・神戸川流域環境マップづくりを開始</li> <li>・10月 <u>公益財団法人河川財団より平成30年度助成事業「川づくり団体部門」の優秀成果表彰団体に選出される</u></li> <li>・11月24日(日) 出雲科学館において「第13回斐伊川・神戸川流域環境マップづくり成果発表会」を開催し、飯南町立赤名小学校、奥出雲町立鳥上小学校、出雲市立多伎小学校、奥出雲町立布勢公民館が発表</li> <li>・11月26日 島根日日新聞に成果発表会の様子が報道された</li> <li>・2月「平成30年度川づくり団体全国事例発表会」(東京大学山上会館)「川づくり団体部門」優秀成果団体表彰式に出席しポスターセッションで河川環境マップづくりの取り組み事例を発表 参加学校数11(高等学校1含む)、公民館1、延べ参加者数474人</li> </ul>

R2(2020)年度	<p>(公)河川財団の河川助成事業、しまね社会貢献基金活動支援金の助成を受ける</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・5月 河川調査指導者研修会を神戸川(出雲市乙立町立久恵峡)で開催</li> <li>・6月 第14回斐伊川・神戸川流域環境マップづくりを開始</li> <li>・8月 船で出かけて「夏の宍道湖を調べよう！」夏休みに親子水質調査体験活動を始めて開催 新型コロナウイルス感染拡大防止のため参加者は5組13名で開催</li> <li>・11月21日(土) 出雲科学館において「第14回斐伊川・神戸川流域環境マップづくり成果発表会」を開催し、飯南町立志々小学校、雲南市立大東小学校、出雲市立佐田中学校の3校が発表</li> <li>・11月下旬 山陰中央新報・島根日日新聞と出雲ケーブルビジョンで成果発表会の様子が報道された</li> </ul> <p>参加学校数12(高等学校1含む)、延べ参加者数314人</p>
R3(2021)年度	<p>(公)河川財団の河川助成事業、(一社)中国建設弘済会「中国地方地域づくり等助成事業」の助成を受ける</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・5月 河川調査指導者研修会を神戸川(出雲市乙立町立久恵峡)で開催</li> <li>・6月 第15回斐伊川・神戸川流域環境マップづくりを開始</li> <li>・8月 船で出かけて「夏の宍道湖を調べよう！」夏休みに親子水質調査体験活動を開催 日程変更のため参加者は4組8名で開催</li> <li>・11月20日(土) 出雲科学館において「第15回斐伊川・神戸川流域環境マップづくり成果発表会」を開催し、飯南町立頓原小学校、出雲市立多伎小学校、奥出雲町立阿井小学校、出雲西高等学校の4校が発表</li> <li>・11月下旬 島根日日新聞で成果発表会の様子が報道された</li> </ul> <p>参加学校・公民館数12(高等学校1、公民館1含む)、延べ参加者数379人</p>
R4(2022)年度	<p>(公)河川財団の河川助成事業、(一社)中国建設弘済会「中国地方地域づくり等助成事業」の助成を受ける</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2月 理事長・事務局長が新出雲市長・出雲市教育委員会教育長を訪ね斐伊川・神戸川流域環境マップづくりの活動を紹介し継続的な支援を要請</li> <li>・5月 河川調査指導者研修会を神戸川(出雲市乙立町立久恵峡)で開催</li> <li>・6月 第16回斐伊川・神戸川流域環境マップづくりを開始</li> <li>・8月 船で出かけて「夏の宍道湖を調べよう！」夏休み親子で水質調査体験活動は新型コロナウイルス感染拡大の影響でやむなく中止とした。</li> <li>・11月23日(水・祝) 出雲科学館において「第16回斐伊川・神戸川流域環境マップづくり成果発表会」を開催し、飯南町立来島小学校、出雲市立須佐小学校、出雲市立神戸川小学校の3校が発表</li> <li>・11月下旬 島根日日新聞で成果発表会の様子が報道された</li> </ul> <p>参加学校数11(高等学校1含む)、延べ参加者数328人</p>
R5(2023)年度	<p>(公)河川財団の河川助成事業、(一社)中国建設弘済会「中国地方地域づくり等助成事業」の助成を受ける</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・5月 河川調査指導者研修会を神戸川(出雲市乙立町立久恵峡)で開催</li> <li>・6月 第17回斐伊川・神戸川流域環境マップづくりを開始</li> <li>・8月 船で出かけて「夏の宍道湖を調べよう！」開催</li> </ul> <p>国土交通省出雲河川事務所の協力で、夏休み親子で宍道湖環境調査を開催し、小学生4名、3家族合計7人が宍道湖遊覧船はくちょう号に乗船して、嫁が島付近で</p>

	<p>夏の宍道湖の透視度・水質・塩分濃度や湖底の生物を調査した。宍道湖の環境を調査して汽水湖の宍道湖の水質保全の必要性を感じてもらった。</p> <p>講師:公益財団法人島根県環境保健公社</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・11月18日(土) 出雲科学館において「第17回斐伊川・神戸川流域環境マップづくり成果発表会」を開催し、出雲市立塩冶小学校、出雲市立佐田中学校の2校が発表</li> <li>・11月下旬 島根日日新聞で成果発表会の様子が報道された</li> </ul> <p>参加学校数10(高等学校1含む)、延べ参加者数534人</p>
R6(2024)年度	<p>島根県社会貢献活動支援事業「寄付者設定テーマ事業」、(一社)中国建設弘済会「中国地方地域づくり等助成事業」の助成を受ける</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・5月 河川調査指導者研修会を神戸川(出雲市乙立町立久恵峡)で開催</li> <li>・6月 第18回斐伊川・神戸川流域環境マップづくりを開始</li> <li>・8月 船で出かけて「夏の宍道湖を調べよう！」開催</li> </ul> <p>国土交通省出雲河川事務所の協力で、夏休み親子で宍道湖環境調査を開催し、小学生9名、7家族合計19人が宍道湖遊覧船はくちょう号に乗船して、嫁が島付近で夏の宍道湖の透視度・水質・塩分濃度や湖底の生物を調査した。宍道湖の環境を調査して汽水湖の宍道湖の水質保全の必要性を感じてもらった。</p> <p>講師:公益財団法人島根県環境保健公社</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・11月30日(土) 出雲科学館において「第18回斐伊川・神戸川流域環境マップづくり成果発表会」を開催し、出雲市立遥堪小学校、雲南市立鍋山小学校、出雲西高校インターアクトクラブの3校が発表</li> <li>・12月上旬 島根日日新聞で成果発表会の様子が報道された</li> <li>・12月 <u>JAしまね 令和6年度地域貢献・地域活性化団体活動表彰式</u> JAしまね出雲地区本部で開催(県内11団体受賞)</li> </ul> <p>参加学校数9(高等学校1含む)、延べ参加者数303人</p>
R7(2025)年度	<p>(公)河川財団の河川助成事業、(一社)中国建設弘済会「中国地方地域づくり等助成事業」の助成を受ける</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・5月 河川調査指導者研修会を神戸川(出雲市乙立町立久恵峡)で開催</li> <li>・6月 第19回斐伊川・神戸川流域環境マップづくりを開始</li> <li>・8月 船で出かけて「夏の宍道湖を調べよう！」開催</li> </ul> <p>国土交通省出雲河川事務所の協力で、夏休み親子で宍道湖環境調査を開催し、小中学生11名、7家族合計19人が宍道湖遊覧船はくちょう号に乗船して、嫁が島付近で夏の宍道湖の透視度・CODや湖底の底生生物を調査した。宍道湖クイズに挑戦と湖の環境を調査して、汽水湖である宍道湖の水質保全の必要性を感じてもらった。</p> <p>講師:公益財団法人島根県環境保健公社</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・12月6日(土) 出雲科学館において「第19回斐伊川・神戸川流域環境マップづくり成果発表会」を開催し、出雲市立須佐小学校、出雲市立多伎小学校の2校が発表</li> <li>・12月中旬 島根日日新聞で成果発表会の様子が報道された</li> </ul> <p>参加学校数7校(高等学校1含む)、延べ参加者数244人</p>

## 2025年度の活動

### ●春の指導者研修会(出雲市 立久恵峡わかあゆの里 神戸川) 5/27

主催者のNPO法人しまね体験活動支援センター事務局長からマップづくりの概要を説明、国土交通省出雲河川事務所からも説明を受けた後、(公)島根県環境保健公社の皆さんの指導を受けながらPH・CODのパックテスト、水の透視度測定を体験しました。

その後、神戸川に入って石をひっくり返して水生昆虫を採集し、講師の指導を受けながら種類ごとに分類し、記録の取り方や水質判定のやり方などの体験研修を行いました。



### ●春の調査 6月～7月10日

春の調査には、2校53人が参加して近くの川で河川調査を実施しました。

### ●夏の調査 7月11日～8月

夏の調査には、1校と宍道湖環境調査を含め22人が参加して調査を実施しました。

### ●秋の調査 9月～10月

秋の調査には、5校169人が参加して調査を実施しました。また、源流や学校から離れた中流を訪ねる活動も行われました。秋には各学校で開催された学習発表会で、マップづくりの体験発表や河川環境を守ることについての重要性を、直接児童達から学校や地域の皆さんに訴えることを行っていました。

### ●船で出かけて夏休み親子で「宍道湖環境調査」 8/3

夏休みに7家族19人が参加して宍道湖環境調査を実施しました。宍道湖クイズを実施した後(公)島根県環境保健公社の皆さんの指導を受けて透視度、CODパックテスト、底生生物調査などを体験しました。

### ●2025年 第19回斐伊川・神戸川流域環境マップづくり成果発表会 開催 12/6

出雲科学館において出雲市内の小学校2校が調査を通しての気づきや思いを発表しました。

須佐小学校は須佐川・神戸川の調査結果や今の川を知って欲しいと絵手紙を作成し「川にゴミをすてない、ゴミが落ちていたら拾う、生きものや植物を放さない」ことなどを訴えました。

多伎小学校は宮本川の水質調査や海岸清掃体験から、「今の私たちが未来の環境を変える」という大事な役割を持っている、これからも環境問題に取り組んで行く」と訴えました。

【第19回環境マップづくり成果発表会発表校】

出雲市立須佐小学校2名、出雲市立多伎小学校5名



### ●2025年 斐伊川・神戸川流域環境マップづくり報告書の配布 2月

マップづくり報告書とA1サイズのマップを2月中旬に完成させて2月中には各学校、教育委員会、コミュニティセンター、公民館、環境学習施設、図書館等へ配布しました。

春夏秋の調査をあわせると、延べ244人が参加しました

通算すると子どものみで延べ17,280人の参加者

主に教員を対象に行っている

## 春の指導者研修会

5月27日午後2時から4時30分まで、国土交通省出雲河川事務所・公益財団法人島根県環境保健公社の皆様の指導で、透視度計・水質パックテスト・水生昆虫による水質判定等の実習を行った。



【講師より河川調査の概要説明】



【透視度計による調査の実習】



【水生昆虫採集の実習】



【水生昆虫の識別実習】



【水生昆虫の識別実習】



【水生昆虫識別のポイント指導】

2025年5月27日 会場:出雲市 立久恵峡わかあゆの里 神戸川河川敷

## 第 19 回「斐伊川・神戸川流域環境マップづくり」成果発表会

日時：令和 7 年 12 月 6 日(土)14:30～16:00 会場：出雲科学館 理科学習棟 3 階  
主催：NPO 法人 しまね体験活動支援センター  
後援：出雲市教育委員会、雲南市教育委員会、奥出雲町教育委員会、飯南町教育委員会、  
国土交通省中国地方整備局出雲河川事務所  
助成：公益財団法人 河川財団、一般社団法人 中国建設弘済会  
総評：出雲市教育委員会教育政策課 学校管理 2 係主幹 梶谷 悟氏  
来賓：国土交通省出雲河川事務所 副所長 真庭利幸氏、  
一般社団法人中国建設弘済会 島根副支部長 安立 宏氏  
出雲市環境政策課 課長 川上 寿氏 他

内容：斐伊川・神戸川流域の 2 小学校の児童が 2025 年に実施した河川環境調査等の取り組みをプレゼンテーションなどで発表しました。

出雲市立須佐小学校 2 名、出雲市立多伎小学校 5 名に(発表順)に発表していただきました。その後、他校の発表を聞いた感想など会場での意見交換を行い成果の検証を行うとともに活動の成果を共有しました。最後に発表校には表彰状と記念品贈呈も行いました。

### 須佐小学校の発表内容

今年遷宮が行われた須佐神社の近くにある全校生徒 86 名の須佐小学校で、モリアオガエルの観察やアユの稚魚の放流などにも取り組んだ。また、4 年生は子ども歌舞伎にも取り組み大勢の皆さんにも応援していただいた。学校の前を流れる全長 5Km の須佐川と今年 4 月から統合した旧窪田小学校前の神戸川の 2 か所で水質調査をした。

6 月 27 日、雨で水量が増していた須佐川だったが川に入って調査ができた。天気は晴れ、気温 28 度、水温 21 度、透明度 50～55cm。パックテストでの調査では COD7～7.5、pH2～20 の結果だった。水生生物ではきれいな水にすむカワゲラ類が 7 匹、ナガレトビケラ類が 3 匹いた。ややきれいな水にすむ生き物ではカワニナ類が 4 匹、ヒラタドROMシ 3 匹などだった。水質判定では水質階級Ⅱの「ややきれいな水」から水質階級Ⅰの「きれいな水」であった。【出雲市立須佐小学校の発表】



7 月 1 日、神戸川の調査では、天気は晴れ、気温 29 度、水温 23 度、透明度 100cm。パックテストでの調査では COD2～8 の結果だった。水生生物ではきれいな水にすむヒラタカゲロウ類が 24 匹、カワゲラ類が 20 匹などであった。ややきれいな水にすむ生き物ではカワニナ類が 5 匹、ヒラタドROMシ 3 匹などだった。水質判定では水質階級Ⅰの「きれいな水」であった。

佐田町の川はきれいな川～ややきれいな川で生き物がたくさん住んでいることが分かった。ただ川の周りにゴミが落ちていたり、外来生物も増えているという問題があることも分かった。これから私たちは「川